

第3章 次世代の担い手を育成する本県の産業教育の在り方

第2章で示した「次世代の担い手に求められるもの」を踏まえ、これからの時代を担う人材を育成する本県の産業教育の在り方について検討し、目標と視点を次のようにまとめた。県教育委員会は、この目標の実現に向けて、学校が産業教育に十分力を発揮できるよう様々な施策を実行し、体系的かつ実践的な教育の充実を図る必要がある。

<次世代の担い手を育成するための目標>

- 1 産業の各分野の社会的意義や役割を踏まえた専門的知識・技術の習得
- 2 産業の各分野における課題を発見し、職業人としての倫理観をもち、合理的かつ創造的に問題解決する力の育成
- 3 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成

<次世代の担い手を育成するための視点>

- (1) 専門分野の基礎的・基本的な知識・技術の習得と定着
- (2) 新たな価値観の創出や多様化への対応
- (3) キャリア教育の充実と地域産業への定着の促進
- (4) 最先端の技術に対応した教員の指導力の向上
- (5) 産業教育の充実を図るための教育環境の充実